

## 雑種豚の産肉性に関する試験

坂井 穰

(長崎県総合農林センター)

SAKAI, Y.

Studies on the meat production of hybrid pigs

一代雑種豚による飼養試験を行ない、その発育性、と肉性および経済性を知るため本試験を行なったので、その一部を報告する。

### I. 試験方法

供試豚は1968年生まれのLH, YH, およびLWの各一代雑種を各々4頭(♂2, ♀2)づつとし、それぞれ体重20kgから90kgまで飼養した。また試験実施時期は略同一時期とした。

### II. 試験成績

(6) と体長は大型種を母体としたLH, LWが中型種を母体としたYHより長かった。

(7) ロース長はLH, LWがYHより長く、と体長の場合と同様な傾向であった。

供試飼料は豚産肉能力検定用飼料を用い給与方法は、豚産肉能力検定飼料の給与基準量に準じ、20~50kgまでを前期飼料、50~90kgまでは後期飼料をそれぞれ、制限給餌で給与した。飲水はウォーターカップによって自由に飲ませ、豚房(120m×270m)は一頭づつ単飼育とし冬期間は敷料を使用した。

### 発育及び飼料要求率

区分	生後日齢			所要日数			一日平均増体重			飼料摂取量 kg			飼料要求率		
	20kg	50kg	90kg	20~50kg	50~90kg	20~90kg	20~50kg	50~90kg	20~90kg	20~50kg	50~90kg	20~90kg	20~50kg	50~90kg	20~90kg
LH	69日	117日	174日	48日	57日	105日	0.625	0.701	0.666	88.4	162.5	250.9	2.95	4.06	3.58
YH	60	118	174	58	56	114	0.517	0.714	0.614	80.1	157.0	237.1	2.67	3.92	3.39
LW	66	113	172	47	59	106	0.638	0.678	0.660	79.1	145.7	224.8	2.64	3.64	3.21

### III. 要 約

(1) 90kg到達日齢ではLWが170日で最も早く、LH, YHはそれぞれ174日でやや遅れたがいずれも174日以内で到達した。

(2) 20kg到達日齢で最も早かったYHは、20~50kgに達する間に発育が遅れ、したがって90kg到達日齢も他の2区に約10日遅れた。

(3) 飼料摂取量はLHにおいて多く必要とし、そのため飼料要求率も他の2区に比し多く3.58であった。

(4) 20~90kgの間の1日平均増体重はLHが6667gで最もすぐれ、次にLWの660.4g、最も悪かったのはYHの614gであった。

(5) 枝肉歩留りはLHが最もよく71.0%であり、LW, YHは69.8~69.4%でややおとった。

また20kg時と50kg時に駆虫を実施した。

(8) ロースの面積はYH, LH, LWの順で、Hを交配した区が優良であった。これはHの特性があらわれた結果であろうと考える。

(9) 脂肪層(三部位平均)の厚さはLH, YH, LWの順にうすく、Hを交配した雑種がややすぐれていた。